

事務事業名		介護予防一次予防事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	04 安心が確保されたまちづくりの推進				事業期間		予算科目				
	施策名	13 高齢者福祉の推進										
	基本事業名	02 高齢者福祉サービスの充実				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成18 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		18	04	01	02	00
根拠法令	介護保険法											
所属	部課名	生活福祉部 保健介護センター				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
	課長名	後藤 俊一										
	係名	地域包括支援センター	電話	26-2943								
	担当者	中井 みま	内線	27-3111(439)								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)												
地域において介護予防のための自発的な活動が広く実施され、高齢者自らが活動に参加し、介護予防に向けた取組が主体的にできるよう、健康教育や健康相談等により介護予防の知識の普及・啓発を行う。また、その支援のため活動するボランティアや地域組織の育成・支援を行う。主な事業は①介護予防教室の開催 ②講演会や相談会等の開催 ③介護予防に資する地域活動組織の育成及び支援 事業費は人件費や介護予防教室の委託料、講師料、パンフレットや教材などに支出される。												
総投入量 (千円)	事業費 内訳	財務 内訳	国庫支出金									
			都道府県支出金									
			地方債									
			その他									
			一般財源									
			事業費計 (A)				0					
人件費	正規職員従事人数											
	延べ業務時間											
	人件費計 (B)				0							
	トータルコスト(A)+(B)				0							

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称 単位
各種介護予防教室、生活支援型ホームヘルパー派遣事業、高齢者ふれあい活動事業、老人クラブ活動への支援、湯っこで健康づくり事業、大船渡地区認知症の人と家族の会支援、認知症サポーター養成講座等を実施した。	ア 各種介護予防教室等開催数 回
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ 各種介護予防教室等参加者数 人
前年度事業と同様であるが、介護予防教室の開催回数を増やす。	ウ 生活支援型ホームヘルパー利用者数 人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)
65歳以上の高齢者及びその支援のために活動する者	名称 単位
	カ 65歳以上の高齢者 人
	キ 支援団体の数 団体
	ク
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
高齢者が介護予防の大切さを理解し、自ら介護予防のための活動、事業に積極的に参加できるようになる。また、介護予防の必要性を理解し、支援のために活動できる人が増える。	名称 単位
	サ 各種介護予防教室等参加者数 人
	シ 要支援、要介護認定率 %
	ス
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	
高齢者が地域でいきいきと自立した日常生活が送れるようになる。また、高齢者の自主的な介護予防活動を支援する地域組織ができ、自主的に活動できる。	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	単位						
	財源内訳	千円	816	1,263	1,324	1,375	2,625	2,625
	国庫支出金	千円	408	631	662	687	1,312	1,312
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円	2,043	3,160	3,312	3,438	6,563	6,563
	その他	千円						
	一般財源	千円						
	事業費計 (A)	千円	3,267	5,054	5,298	10,500	10,500	10,500
	人件費	人	5	5	2	3	3	3
	正規職員従事人数	時間	994	1,280	1,100	1,200	1,200	1,200
指標	延べ業務時間	千円	3,976	5,120	4,400	4,800	4,800	4,800
	人件費計 (B)	千円	7,243	10,174	9,698	15,300	15,300	15,300
	トータルコスト(A)+(B)	千円						
	⑤活動指標	ア 回	109	122	174	180	180	180
		イ 人	1,335	1,984	2,607	2,700	2,700	2,700
		ウ 人	9	5	6	25	25	25
	⑥対象指標	カ 人	12,171	12,486	12,722	12,900	13,000	13,100
		キ 団体	13	22	24	25	30	35
		ク						
	⑦成果指標	サ 人	1335	1,984	2,607	2,700	2,700	2,700
		シ %	16.4	17.0	17.8	17.0	17.0	17.0
		ス						

事務事業ID	1456	事務事業名	介護予防一次予防事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

平成18年4月1日の介護保険法改正により、地域支援事業実施要綱が定められ平成18年4月1日から開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

介護保険法、地域支援事業実施要綱に基づき、介護保険料が財源の一部となったため、第三期介護保険事業計画に組み入れられた。老人保健法が改正となり、平成20年度から生活機能評価が地域支援事業交付金の対象となった。平成21年度からは、第四期介護保険事業計画に基づき実施している。平成23年度は災害により事業の実施が遅れ、また事業の委託先の被災により、予定通り実施できないものもあった。平成24年度からは、第五期介護保険事業計画に基づき、災害後の生活不活発病予防のため回数・会場を増やして実施し継続している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

「気持ち前向きになった。」「みんなに会える。」「実践してみても体調が良い。」「体が軽くなった(動くようになった)。」「男性の参加者がもっとあれば良いと思う。」「などの市民からの声がある。

2 評価の部(SEE)＊原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☒ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 財源として保険料が充てられているので他の事業と統廃合できないが、介護予防と合わせて、健康づくりについて健康増進法と連携して事業が行なえるため、課内で共同して事業を展開できる。 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

事務事業ID	1456	事務事業名	介護予防一次予防事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	介護予防に取り組むことは、高齢者のみならず40歳以上の市民にとって共通の課題であることを理解してもらい、行政主導型ではなく住民参加型で進めていく必要がある。そのために、介護予防について普及啓発事業を幅広く行っていく必要がある。また、介護予防のための地域づくりの取り組みを継続することで、包括的ケアへとつなげていく。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☒ 事業統合・連携</td><td>☐ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 高齢者が対象なので、身近な地域での開催や周知の方法も検討していきたい。 介護予防は市民にとって共通の課題であるため、健康増進と併せて普及啓発事業を行なっていく必要がある。 そのため、保健活動と共同での事業展開を検討していきたい。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☒ 事業統合・連携	☐ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☒ 事業統合・連携	☐ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td>●</td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			●																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																						
地域の自主的な組織力、ボランティア等住民参加型サービスの育成。																						

(職 名) ※原則として施策の主管課長		(氏 名)
2次評価者	保健介護センター所長	後藤俊一

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																						
☐ 記述不足でわかりにくい																						
☐ 一部記述不足のところがある																						
☒ 記述は十分なされている																						
②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																						
☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)																						
☐ 一部に客観性を欠いたところがある																						
☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	適切な事務執行がなされている。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
③ 効率性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																				
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 高齢者施策の内、介護状態に至ることを防止する重要な施策であり、関係団体等の協力を得ながら、今後も継続して事業を実施する。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>●</td><td>○</td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●	○	維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●	○																		
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1)行政経営推進会議等での指摘事項